

韓国海外研修報告書

社会環境学部 社会環境学科 3年 柏田滉太

私は、今年の夏に開かれた SCEP (Summer Culture Experience Program) に参加しました。このプログラムは、アメリカ・スペイン・中国・トルコ・カザフスタンなどといった約 10 ヶ国程の大学生が参加し、様々な経験を通して絆を深めていくといったプログラムです。

私がこのプログラムに参加しようと思ったきっかけは、世界中の人との交流を通して自分の視野を広げたい、日本だけでなく海外の友達が欲しいと思ったからです。

入国初日、私は釜山港でルームメイトであるテギョンに出会いました。正直なところ「ルームメイトはどんな人だろう？」と少し不安もありましたが、彼は英語が上手、優しく親切というだけでなく、とても面白く歌も踊りも上手という才能の持ち主ですぐに打ち解けることが出来ました。

プログラムでは、韓国料理を作ったり、兵役制度体験、Sumsong の工場見学、ホームステイ、テコンドーなどを体験することが出来ました。また休みの日には地下鉄を乗り継いで、友達とヘウンデビーチに泳ぎに行ったりと、とても充実した日々を過ごすことが出来ました。特にホームステイでは、ルームメイトのお父さん、お母さんが美味しい料理を食べに連れて行ってくれたり、お母さんが手作り料理を振る舞ってくれたり、すごく温かい気持ちに触れ、本当に幸せな気持ちになりました。「また韓国に来る時には連絡して。こうたならいつでも大歓迎だよ！」などと言ってくれたお父さん、お母さんには本当に感謝の気持ちで一杯です。

そうした沢山の貴重な体験をしながら、1 週間、2 週間と月日を重ねる毎に、本当にたくさんの友達が出来ました。特にアメリカ・中国・スペイン・韓国の友達とは本当に仲良くなることができ、そのグループを <Easy Company> などと名付け、毎日一緒に食事に行ったりなどと行動を共にし、お互いを <Brother> と呼び合う程の関係を築くことが出来ました。

また、現在、交換留学生として福岡工業大学に来ているユン・ダウンさんの家に招待してもらうことが出来ました。韓国で会うのは、すごく不思議でしたが、家族の方も、すごく親切にしてくれて、とても楽しく、嬉しい気持ちで一杯でした。

月日は早いもので、お別れの日にはすごく悲しい気持ちになってしまい、涙を流してしまいました。

私はこのプログラムを通して本当にたくさんの出会い、体験をすることが出来ました。本当に出会った参加者 1 人 1 人が親切で魅力的な人ばかりでした。ルームメイトのテギョン、Easy Company、その他の参加者との出会いは私の一生の宝物です。また、このプログ

ラムの中で、英語をもっと勉強したい。韓国語を覚えないなどの新しい目標も生まれました。

彼らとは、今年の冬に会う約束をしたので、成長した姿を見せられるように、日々の学生生活から頑張ろうと思います。本当に充実した、最高の3週間でした。



<ルームメイトのテギョン>



<テギョン家族>



<Easy Company>